

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新	旧
共通 ※掲載省略 ・所属名称の変更（給水工事課→給水工事事務所）に伴う修正（様式含む） ・軽微な修正（誤字・脱字修正等） （1 (1)の内容と重複しているため削除）	
1 総則 (1) 目的 本基準は、水圧不足で直圧式給水を適用できない一般個人住宅等（店舗付住宅、二世帯住宅を含む。以下同じ。）を対象とした給水補助加圧装置による増圧式給水の適正な運用を確保するため、その適用条件等について規定したものである。 (2) 対象建築物 ア 年間最小動水圧が 0.196MPa 未満となる 3 階建てまでの一般個人住宅等 (3) 事前協議 申請者は、給水補助加圧装置による増圧式給水を設計する場合、適用条件に適合しているかを、京都市上下水道局水道部給水工事事務所（北部担当又は南部担当）（以下「給水工事事務所」という。）と事前協議を行い、承諾	記 本給水補助加圧装置設置基準は、水圧が不足している一般個人住宅等を対象とした給水補助加圧装置による直結増圧式給水の適用条件などについて規定したものである。ただし、設置に際しては一定の条件があり、条件に合わない建築物については対象外となる。 1 総則 (1) 目的 本基準は、水圧不足により直結給水できない一般個人住宅等（店舗付住宅、二世帯住宅を含む。以下同じ。）の 1 階、2 階及び 3 階部分に設置する給水用具の吐出圧力、吐出量等の確保が懸念される一部給水用具に補助加圧給水するために、給水装置に直結して給水補助加圧装置を設置する給水装置工事の施行等について必要な事項を定め、適正な運用を確保することを目的とする。 (2) 対象建築物 ア 増圧式給水での給水を必要とする 2 階又は 3 階建ての一般個人住宅等で、年間最小動水圧が、0.196MPa 未満となるもの。 (3) 事前協議 申請者は、本申請（給水装置工事設計書作成）の前に、当該建築物の設計水圧を所轄の京都市上下水道局北部及び南部給水工事課（以下「給水工事課」という。）で確認したうえで、「給水補助加圧装置による増圧式給水事

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新	旧
を得なければならない。 建築物の設計水压を確認したうえで「給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議申請書(様式1)」に必要事項を記入し、以下の関係図書を添付して給水工事事務所に提出するものとする。 ア 建築物の位置図 イ 配管平面図及び配管立面図 給水管及び給水用具等の詳細が分かるもの。 ウ 水理計算書 設計水压に基づき配水管分岐部から給水補助加圧装置までの水理計算を行い、給水補助加圧装置一次側(吸込側)での最小動水压が0.03MPa～0.05MPa 未満とならないこと及び給水補助加圧装置二次側(吐出側)下流の給水用具で所要の吐出圧力、吐出量が得られていることを確認できるもの。 2 給水装置の設計及び施工 (2) 水理計算 ア 同時使用水量 同時使用水量については、以下のいずれかの方法で算出する。 (7) 「表1 同時使用を考慮した給水用具数」及び「表2 種類別吐出量と対応する給水用具の口径」により算出する方法 (4) 「表1 同時使用を考慮した給水用具数」及び「表3 給水用具の標準使用水量」により算出する方法 イ 水道メーター口径の決定及び給水補助加圧装置の口径	前協議申請書(様式1)」に必要事項を記入し、以下の関係図書を添付して給水工事課に申請するものとする。 ア 建築物の平面図及び系統図(アイソメ図) 給水管及び取付ける給水用具等の詳細が分かるもの イ 水理計算書 設計水压に基づき配水管分岐部から給水補助加圧装置までの水理計算を行い、給水補助加圧装置一次側(吸込側)での最小動水压が0.03MPa～0.05MPa 未満とならないこと及び給水補助加圧装置二次側(吐出側)下流の給水用具で所要の吐出圧力、吐出量が得られていることを確認できる水理計算書を提出すること。 2 給水装置の設計及び施工 (2) 水理計算 ア 同時使用水量 同時使用水量の算出方法については、「直結式給水施行要領」に準じて行う。 添付の「表1」同時使用を考慮した給水用具数と「表2」種類別吐出量と対応する給水用具の口径により同時使用水量を算出する方法、または、「表1」同時使用を考慮した給水用具数と「表3」給水用具の標準使用水量により同時使用水量を算出する方法とする。 イ 水道メーター口径の決定及び給水補助加圧装置の口径

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新	旧
水道メーター口径については、以下のいずれかの方法で決定する。なお、いずれの場合においても、水道メーター口径はφ20mm 又はφ25mm とし、これを超える同時使用水量となった場合は不可となる。また、給水補助加圧装置の口径は、φ20mm のみとする。 (7) 算出した同時使用水量及び「表5 管内流速早見表の管内流速」により管内流速が2.0m/秒以下となる口径に決定する方法 (4) 建築物全体の給水用具数が12 栓以下の場合は、φ20mm を水道メーター口径とし、13 栓以上の場合は、水理計算により決定する方法 ウ 水理計算の方法 損失水頭計算を直圧式給水の箇所と増圧式給水の箇所それぞれに行い、末端の給水用具若しくは必要とする給水用具に必要な残水圧(一般的には0.049MPa 以上)があるかを確認する。(詳細は「参考 水理計算の手順について」を参照すること。) 3 適用条件等の概要 (2) 設置条件 キ 事前協議で給水工事事務所の承諾を得た場合、給水装置工事申請時に「給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議回答書(様式2)」の写し及び「給水補助加圧装置設置条件承諾書(様式3)」を添付し提出すること。	水道メーター口径の決定に当たっては、算出した同時使用水量により、「表5」管内流速早見表の管内流速が2.0m/秒以下となる口径とする。または、従来の方法で、建築物全体の給水用具数が12 栓以下の場合は、φ20mm を水道メーター口径とし、13 栓を超える場合は、水理計算により決定する方法。 なお、何れの場合においても、水道メーター口径はφ20mm 及びφ25mm とし、これを超える同時使用水量となった場合は不可となる。また、給水補助加圧装置の口径は、φ20mm のみとする。 ウ 水理計算の方法 水理計算については、「表4」動水勾配早見表により、前項アで得た同時使用水量に対応した動水勾配に「表6」器具類損失水頭の直管換算長及び直管長等に乗じて得た摩擦損失水頭に位置水頭差(高低差)を加えて得た損失水頭計算を直圧式給水の箇所と増圧式給水の箇所それぞれに行い、末端の給水用具若しくは必要とする給水用具に必要な残水圧(一般的には0.049MPa 以上)があるかを確認する。 3 適用条件等の概要 (2) 設置条件 キ 事前協議で給水工事課の承諾を得た場合、給水装置工事申請時に「給水補助加圧装置による増圧式給水事前協議回答書(様式2)」及び「給水補助加圧装置設置条件承諾書(様式3)」を添付し提出すること。

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新	旧																																																											
様式1：体裁の変更 様式1 上下水道局使用欄 <table><tr><td>受付番号</td><td>補</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>受付日</td><td>令</td><td>和</td><td>年 月 日</td></tr></table> 給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議申請書 住所 申請者 氏 名 電話番号 (- -) 下記の建築物への一部給水について、給水補助加圧装置による直結増圧式給水としたいので、事前協議を申請します。 記 <table><tr><td>施 工 場 所</td><td>区</td></tr><tr><td rowspan="10">建 築 物 概 要</td><td>建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式</td></tr><tr><td>給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設</td></tr><tr><td>お 客 様 番 号 (新 築 時 不 要) : 検針区 使用者コード 水栓番号</td></tr><tr><td>階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て</td></tr><tr><td>最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分</td></tr><tr><td>給 水 用 具 数 : 総 数 栓 (内増圧式給水を必要とする数 栓)</td></tr><tr><td>水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()</td></tr><tr><td>増圧式給水の範囲 : ☐ 建物全体 ☐ 一部給水用具</td></tr><tr><td>☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅</td></tr><tr><td>業 態 : ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()</td></tr><tr><td rowspan="3">使 用 水 量</td><td>日平均使用水量 : ☐ 1.3 m³/日 ☐ 2.6 m³/日 ☐ m³/日</td></tr><tr><td>同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)</td></tr><tr><td>水 理 計 算 : 別紙のとおり</td></tr><tr><td>分 岐 口 径</td><td>配 水 管 : φ mm × 水道メーター : ☐ φ20mm ☐ φ25mm</td></tr><tr><td>年間最小動水圧</td><td>分 岐 箇 所 : MPa 、給水補助加圧装置一次側 MPa</td></tr><tr><td>工事予定期間</td><td>令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</td></tr></table> 様式1 <table><tr><td>受付番号</td><td>給工 - 補 -</td><td>給 - 補 -</td></tr><tr><td>受付日</td><td>令 和</td><td>年 月 日</td></tr></table> 給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議申請書 住所 氏 名 電話番号 () 下記の建築物への一部給水については、給水補助加圧装置による直結増圧式給水としたいので事前協議を申請します。 記 <table><tr><td>給 水 装 置 主 施 工 事 施 主</td><td>住 所 氏 名 TEL</td></tr><tr><td>施 工 場 所</td><td>区</td></tr><tr><td rowspan="10">建 築 物 概 要</td><td>建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式</td></tr><tr><td>給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設利用</td></tr><tr><td>階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て</td></tr><tr><td>最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分</td></tr><tr><td>給 水 用 具 数 : 総給水用具数 栓 (内増圧式給水を必要とする用具数 栓)</td></tr><tr><td>水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()</td></tr><tr><td>☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅 ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()</td></tr><tr><td>一日平均使用水量 : ☐ 1.3m³/日 ☐ 2.6m³/日 ☐ m³/日</td></tr><tr><td>同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)</td></tr><tr><td>水 理 計 算 : 別 紙 の と お り</td></tr><tr><td>分 岐 口 径</td><td>配 水 管 口 径 φ mm × 水道メーター口径 ☐ φ20mm ☐ φ25mm</td></tr><tr><td>年間最小動水圧</td><td>分 岐 箇 所 MPa 給水補助加圧装置一次側 MPa</td></tr><tr><td>工 事 予 定 着 手</td><td>令 和 年 月 竣 工 : 令 和 年 月 日</td></tr><tr><td></td><td>課長 係長 係員</td></tr></table>	受付番号	補	-	-	受付日	令	和	年 月 日	施 工 場 所	区	建 築 物 概 要	建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式	給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設	お 客 様 番 号 (新 築 時 不 要) : 検針区 使用者コード 水栓番号	階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て	最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分	給 水 用 具 数 : 総 数 栓 (内増圧式給水を必要とする数 栓)	水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()	増圧式給水の範囲 : ☐ 建物全体 ☐ 一部給水用具	☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅	業 態 : ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()	使 用 水 量	日平均使用水量 : ☐ 1.3 m ³ /日 ☐ 2.6 m ³ /日 ☐ m ³ /日	同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)	水 理 計 算 : 別紙のとおり	分 岐 口 径	配 水 管 : φ mm × 水道メーター : ☐ φ20mm ☐ φ25mm	年間最小動水圧	分 岐 箇 所 : MPa 、給水補助加圧装置一次側 MPa	工事予定期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	受付番号	給工 - 補 -	給 - 補 -	受付日	令 和	年 月 日	給 水 装 置 主 施 工 事 施 主	住 所 氏 名 TEL	施 工 場 所	区	建 築 物 概 要	建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式	給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設利用	階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て	最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分	給 水 用 具 数 : 総給水用具数 栓 (内増圧式給水を必要とする用具数 栓)	水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()	☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅 ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()	一日平均使用水量 : ☐ 1.3m ³ /日 ☐ 2.6m ³ /日 ☐ m ³ /日	同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)	水 理 計 算 : 別 紙 の と お り	分 岐 口 径	配 水 管 口 径 φ mm × 水道メーター口径 ☐ φ20mm ☐ φ25mm	年間最小動水圧	分 岐 箇 所 MPa 給水補助加圧装置一次側 MPa	工 事 予 定 着 手	令 和 年 月 竣 工 : 令 和 年 月 日		課長 係長 係員
受付番号	補	-	-																																																									
受付日	令	和	年 月 日																																																									
施 工 場 所	区																																																											
建 築 物 概 要	建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式																																																											
	給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設																																																											
	お 客 様 番 号 (新 築 時 不 要) : 検針区 使用者コード 水栓番号																																																											
	階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て																																																											
	最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分																																																											
	給 水 用 具 数 : 総 数 栓 (内増圧式給水を必要とする数 栓)																																																											
	水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()																																																											
	増圧式給水の範囲 : ☐ 建物全体 ☐ 一部給水用具																																																											
	☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅																																																											
	業 態 : ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()																																																											
使 用 水 量	日平均使用水量 : ☐ 1.3 m ³ /日 ☐ 2.6 m ³ /日 ☐ m ³ /日																																																											
	同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)																																																											
	水 理 計 算 : 別紙のとおり																																																											
分 岐 口 径	配 水 管 : φ mm × 水道メーター : ☐ φ20mm ☐ φ25mm																																																											
年間最小動水圧	分 岐 箇 所 : MPa 、給水補助加圧装置一次側 MPa																																																											
工事予定期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																																																											
受付番号	給工 - 補 -	給 - 補 -																																																										
受付日	令 和	年 月 日																																																										
給 水 装 置 主 施 工 事 施 主	住 所 氏 名 TEL																																																											
施 工 場 所	区																																																											
建 築 物 概 要	建 築 物 : ☐ 新築 ☐ 既築 ☐ 既設受水槽式																																																											
	給 水 装 置 : ☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設利用																																																											
	階 層 : ☐ 1階建て ☐ 2階建て ☐ 3階建て																																																											
	最高位末端給水栓位置 : ☐ 1階部分 ☐ 2階部分 ☐ 3階部分																																																											
	給 水 用 具 数 : 総給水用具数 栓 (内増圧式給水を必要とする用具数 栓)																																																											
	水压を必要とする給 水 用 具 : ☐ トイレ ☐ 台所 ☐ 湯沸器 ☐ その他 ()																																																											
	☐ 一般個人住宅 ☐ 二世帯住宅 ☐ 店舗付き個人住宅 ☐ その他住宅 ()																																																											
	一日平均使用水量 : ☐ 1.3m ³ /日 ☐ 2.6m ³ /日 ☐ m ³ /日																																																											
	同時使用水量 : ℓ/秒 (管内流速 : m/秒)																																																											
	水 理 計 算 : 別 紙 の と お り																																																											
分 岐 口 径	配 水 管 口 径 φ mm × 水道メーター口径 ☐ φ20mm ☐ φ25mm																																																											
年間最小動水圧	分 岐 箇 所 MPa 給水補助加圧装置一次側 MPa																																																											
工 事 予 定 着 手	令 和 年 月 竣 工 : 令 和 年 月 日																																																											
	課長 係長 係員																																																											

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新

旧

様式2：様式の統合及び体裁の変更

様式2

給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議回答書

事前協議申請者

様
令和 年 月 日
京都市上下水道局水道部給水工事事務所長
担当： 〇

令和 年 月 日付で協議のあった、下記物件について回答します。

給水補助加圧装置による増圧式給水が、

☐ 可能です。
☐ 不可です。

〇注意事項

(1) 配水管工事や事故等によりやむを得ず、計画的あるいは緊急的に断水、減水、又は濁水等を伴う場合があるため、給水方式による長所・短所を十分考慮の上、最適な給水方式を採用してください。

(2) 給水装置工事の設計にあたっては、「給水装置工事基準」、「給水装置材料基準」、「外部接続工事施工の手引き」並びに「給水補助加圧装置設置基準」に基づいて下さい。

(3) 工事申請時には本書(写し)を添付してください。紛失時は無効となり、再協議となります。

(4) 工事申請内容と事前協議の内容が異なる場合、本書は無効となり、再協議となります。

物件の概要

受付番号

-

給水装置

☐ 新設 ☐ 撤去・新設 ☐ 既設
※お客様番号は新設時不要。

お客様番号： 検針区 使用者コード 水栓番号

建築物

階建 (☐ 新築 ☐ 既築)

増圧式給水の範囲：☐ 建築物全体 ☐ 一部給水用具

口径 配水管 φ mm × 水道メーター

☐ φ 20
☐ φ 25

 mm

施工場所 受領者署名 年 月 日

----- 以下、給水工事事務所使用欄 -----

所長

係長

係員

様式2-1、2-2

様式2-1

給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議回答書

令和 年 月 日
様 京都市上下水道局水道部
(担当: 給水工事事務所長)
TEL

事前協議の結果について

令和 年 月 日付をもって事前協議のありました下記の物件につきまして、次のとおりお知らせします。

記

☐ その他の適用条件を満たせば給水補助加圧装置による増圧式給水が可能です。
☐ 水圧、その他の状況等から、給水補助加圧装置による増圧式給水は不可能です。

〇設計段階で留意していただく事項

配水管工事や事故等によりやむを得ず、計画的あるいは、緊急的に断水、減水し、又は濁水(1)等を伴うことがありますので、給水方式による長所・短所を十分考慮の上、最適な給水方式を採用して下さい。

(2) 給水装置工事の設計にあたっては、「給水装置工事基準」、「給水装置材料基準」、「外部接続工事施工の手引き」並びに「給水補助加圧装置設置基準」に基づいて下さい。

(3) 給水装置工事の申請時に本書(写し)を添付して下さい。

(4) 給水装置工事申請が事前協議と異なる設計内容である場合、再協議となります。

受付番号 補一

階建て 増圧式給水の範囲 ☐ 建築物全体 ☐ 一部給水用具

配水管口径 φ mm 水道メーター口径 φ mm

給水装置施工主 住 所 氏 名

施工場所 区 受領者署名

様式2-2

給水補助加圧装置による増圧式給水 事前協議回答書

令和 年 月 日
様 京都市上下水道局水道部
(担当: 給水工事事務所長)
TEL

事前協議の結果について

令和 年 月 日付をもって事前協議のありました下記の物件につきまして、次のとおりお知らせします。

記

☐ その他の適用条件を満たせば給水補助加圧装置による増圧式給水が可能です。
☐ 水圧、その他の状況等から、給水補助加圧装置による増圧式給水は不可能です。

〇設計段階で留意していただく事項

配水管工事や事故等によりやむを得ず、計画的あるいは、緊急的に断水、減水し、又は濁水(1)等を伴うことがありますので、給水方式による長所・短所を十分考慮の上、最適な給水方式を採用して下さい。

(2) 給水装置工事の設計にあたっては、「給水装置工事基準」、「給水装置材料基準」、「外部接続工事施工の手引き」並びに「給水補助加圧装置設置基準」に基づいて下さい。

(3) 給水装置工事の申請時に本書(写し)を添付して下さい。

(4) 給水装置工事申請が事前協議と異なる設計内容である場合、再協議となります。

受付番号 補一

階建て 増圧式給水の範囲 ☐ 建築物全体 ☐ 一部給水用具

配水管口径 φ mm 水道メーター口径 φ mm

給水装置施工主 住 所 氏 名

施工場所 区 受領者署名

給水補助加圧装置設置基準 新旧対照表

新

旧

表 6 : 給水ヘッダーの数値修正

表 6

「表 6」 器具類損失水頭の直管換算長				
		単位 : m		
器 具 名		φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm
エルボ	90°	0. 30	0. 38	0. 45
	90°		0. 76	1. 50
	45°	0. 18	0. 23	0. 30
チーズ	分流	0. 45	0. 61	0. 76
	分流		4. 18	4. 73
	直流	0. 09	0. 12	0. 14
	直流		3. 00	3. 24
仕切弁		0. 06	0. 08	0. 09
玉形弁		2. 27	3. 03	3. 79
逆止弁付アングル弁				
フート弁		2. 40	3. 60	4. 50
スイング式逆止弁				
定流量弁			20. 98	26. 66
複式逆流防止弁 I 形			11. 00	13. 00
減圧式逆流防止器			28. 00	35. 00
逆止弁付メーターパッキン		4. 20	4. 00	4. 50
Y 型ストレーナ			7. 00	9. 00
ボール止水栓		0. 38	0. 79	1. 03
逆止弁付ボール止水栓伸縮形		1. 75	2. 59	2. 76
副栓付ボール止水栓伸縮形		4. 90	8. 00	11. 60
給水ヘッダー		0. 45	0. 61	0. 76
給水栓				
止水栓 (甲)		5. 00	9. 00	10. 00
水道メーター 接線流羽根車乾式		3. 10	5. 80	12. 00
分水栓			4. 66	4. 16
異径接合		0. 50	0. 50	0. 50

は、ポリエチレン二層管 (PE2) 用材料を示す。

「表 6」 器具類損失水頭の直管換算長				
		単位 : m		
器 具 名		φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm
エルボ	90°	0. 30	0. 38	0. 45
	90°		0. 76	1. 50
	45°	0. 18	0. 23	0. 30
チーズ	分流	0. 45	0. 61	0. 76
	分流		4. 18	4. 73
	直流	0. 09	0. 12	0. 14
	直流		3. 00	3. 24
仕切弁		0. 06	0. 08	0. 09
玉形弁		2. 27	3. 03	3. 79
逆止弁付アングル弁				
フート弁		2. 40	3. 60	4. 50
スイング式逆止弁				
定流量弁			20. 98	26. 66
複式逆流防止弁 I 形			11. 00	13. 00
減圧式逆流防止器			28. 00	35. 00
逆止弁付メーターパッキン		4. 20	4. 00	4. 50
Y 型ストレーナ			7. 00	9. 00
ボール止水栓		0. 38	0. 79	1. 03
逆止弁付ボール止水栓伸縮形		1. 75	2. 59	2. 76
副栓付ボール止水栓伸縮形		4. 90	8. 00	11. 60
給水ヘッダー		0. 90	1. 20	1. 50
給水栓				
止水栓 (甲)		5. 00	9. 00	10. 00
水道メーター 接線流羽根車乾式		3. 10	5. 80	12. 00
分水栓			4. 66	4. 16
異径接合		0. 50	0. 50	0. 50

は、ポリエチレン二層管 (PE2) 用材料を示す。